

【磯子区】平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 6 月 21 日 午前 11 時 05 分～午前 11 時 45 分
場 所	磯子区総合庁舎 1 階 磯子公会堂集会室
出席者	<p>【座 長】 山本 尚志 議員</p> <p>【議 員：2 名】 加藤 広人 議員、関 勝則 議員</p> <p>【磯子区：34 名】 小林 正幸 区長、川名 一行 副区長</p> <p>齋藤 功 福祉保健センター長</p> <p>岩元 隆道 福祉保健センター担当部長</p> <p>高橋 秀明 福祉保健センター医務担当部長</p> <p>柳井 和彦 磯子土木事務所長</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	議題 1 平成 28 年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行計画等について
発言の 要 旨	<p>【その他 杉田五丁目緑道の整備計画について】</p> <p>関 議員：全国都市緑化よこはまフェアの開催に合わせて、新杉田の緑地や緑道の整備がなされるのはタイムリーで良かったが、河川の方はきれいになってきているのか。現状でも良いので教えてほしい。</p> <p>苅部土木事務所副所長：聖天川の水質については、昔に比べれば大分きれいになってきているが、現在、放置船舶もあるような状況であるので、水質浄化というよりも環境的な整備を進め始めているという状況である。</p> <p>関 議員：何事も一度に解決できないので徐々に取り組んでほしい。また、堀割川の河口周辺についても県の予算がついていると思うので、こちらの環境整備についても取り組んでほしい。</p> <p>【その他 元気な地域づくり推進事業】</p> <p>関 議員：地域運営補助金については、町内会を含む複数の団体が連携して多世代交流や青少年の育成に取り組み、現在、交付が 4 団体で、申請予定が 2 団体ということだが、連携のイメージを具体例などで紹介してほしい。</p> <p>瀧澤区政推進課長：例えば屏風浦地区においては、自治会や青少年指導員、スポーツ推進委員、子ども会や老人会などが一緒になってオリジナルマップを作成し、それを活用した街歩きイベントを開催するなど、</p>

街の活性化に取り組んでいただいている。

【その他 こどもが赤ちゃんと触れ合える機会の提供について】

関 議員：赤ちゃんと、こども・中学生・高校生などが触れ合える機会はあるのか。あるとしたらどのような方法で行っているのか。

齊藤学校連携・こども担当課長：赤ちゃんと触れ合う機会は難しいが、教育委員会とこども青少年局で幼保小連携事業を進めている。また、根岸中学校においては、津波が来た時の高台への避難として、星の子保育園の園児と根岸小学校の生徒と一緒に根岸森林公園に避難する訓練を毎年行っており、その際、中学生が保育園児の手を引いて行っているという例がある。

関 議員：少子化になってくると、家の中にきょうだいがいないなど、早い時期に赤ちゃんと触れ合ったり抱いたりするような経験が少なくなっていると感じる。赤ちゃんと接することで命の尊さや重みを実感しながら、他者を思いやる気持ちなどを育てていくのだと思う。例えば、いそピヨに学校の子どもたちが訪問して赤ちゃんを抱っこさせてもらうなどの取組から始めてはどうか。こうしたことを大人にも広げていき、「親学」のようなものをやることで、虐待の防止などに繋げていければと思っている。いそピヨ事業の中で何か工夫できるものがあれば、ぜひご検討いただきたい。

【その他 事業の進捗管理について】

加藤議員：評判が良く参加者が多い事業とそうではない事業とがある。今年度も3か月経ち、予想以上に反響があるため拡大したり、反響が少ないために見直したりする事業は出てきているのか教えてほしい。

小林区長：四半期ごとに進捗状況や区民の皆様からの声などを総括し、より進めるべきものと工夫を要するものをチェックしながら事業を行っている。今年については、これから全体を見ていこうと考えているが、例えば防災関係のペット手帳はもう少し先の発行予定だったものの、防災訓練等において区民の皆様からの意見を聞く中で、ペットを飼っている方が多いことから前倒しをして進めている。見直しをしなければいけない事業については、状況を見ながらこれからチェックをしていきたい。

【その他：優良ごみ集積所について】

加藤議員：優良ごみ集積所の表彰に磯子区だけが取り組んでいる。経緯とその反響について教えてほしい。

原資源化推進担当課長：ごみ集積所の維持管理について、地元の方は大変苦労している実態があり、環境事業推進委員や自治会町内会といった努力いただいている方への感謝と、近隣ごみ集積所への刺激になればと事務所の中からアイデアが出てきたものである。平成 27 年度から区連会などの場で推薦をお願いしており、現在 20 数件表彰している。

加藤議員：とても素晴らしいことだと思う。区でもどんどん発信していき、全市展開できたらよい。また、表彰状を見たら、とても素敵だったが、表彰状の他には何もなかったということだったので、その辺の工夫もあるとよいのではないか。

【その他 元気な地域づくり推進事業】

山本議員：地域運営補助金について、これから自助や共助は一層重要となり、もっと手を挙げてくる人が増えてくると思う。現在交付 4 団体、申請予定 2 団体ということだが、こうした取組は継続性が必要である。今後、自ら区づくりに参加する区民が増えてくるかと思うが、この財源はどう確保していくのかが大事になってくる。今まで区が行っている部分について、スクラップというより、区民の皆さんに自主的に行っていただくよう転換していく必要がある。必要なものは増やし、そうでないものは見直しをお願いしたい。

【29 広報相談事業】

山本議員：広報相談事業において、弁護士、公証人、行政書士等による区民相談を実施しているが、先日、司法書士や税理士、行政書士等の団体から、市民の相談役として、ぜひ役に立ちたいという話があった。身近で行きやすい区役所にこうした相談窓口を作ってほしいという話もあったので、可能であれば検討してもらいたい。

【その他 元気な地域づくり推進事業】

瀧澤区政推進課長：地域運営補助金については、昨年度末に既存の団体の活動を紹介する事例集を作成して、新たな活動に結びつくという効果

があった。また、今年度は地域活動通信を作り、未実施地区の活動のきっかけになればと考えている。その結果として、手を挙げる団体が増えた場合には、市民局から予算の追加配付を受け、滞りの無いようにしていきたい。

【29 広報相談事業】

瀧澤区政推進課長：弁護士法律相談等については、限られた予算の中で相談枠の増加も行ってきているが、今後も必要があれば検討していきたい。

山本議員：高齢社会の中で、地域の中にそうした相談窓口があるとよい。例えば、地域ケアプラザなどにおいて、色々な資格を持った方々がパートナーとして、何かあったときに相談できるようなシステムがあるとありがたいという地域の声もある。そうした知見のある方々に入っていただくと、困りごとがある方々に対して一緒に相談ができると思うので、ぜひコーディネートをお願いしたい。

【その他 磯子区出身者のリオオリンピック出場について】

関 議員：杉田小学校・浜中学校の卒業生である松永大介さんが、リオオリンピックの20キロ競歩に出場する。そうするとリオの中継などもあると思うが、区役所ではどのような対応を行うのか。地域の商店街で対応する場合は、表現の制約が多いとのことである。磯子区は区民栄誉賞の制度を持っているので、オリンピックに出るということだけでも栄誉賞になると思うが、まだ区内に住んでいるのか。また、これから区として何か行っていくのか考えていたら教えてほしい。

小林区長：松永さんがオリンピックに出場することは、区としても大変誇らしく栄誉なことである。区内の小中学校をご卒業ということで、現在、表現は調整しているが、区庁舎に垂れ幕を設置することでお祝いの意思を表していく。

なお、現在松永さんは磯子区内に居住されていないとのことである。

備 考

その他 <特になし>